

3 「健康と歴史・文化の路」の整備路線

(1) 必須要件による路線選考

プロジェクトチームのスタッフから多くの路線(33 路線)が提案されました。この提案路線をもとに必須要件に基づき取捨選択し、18 路線を候補としました。

《必須要件》

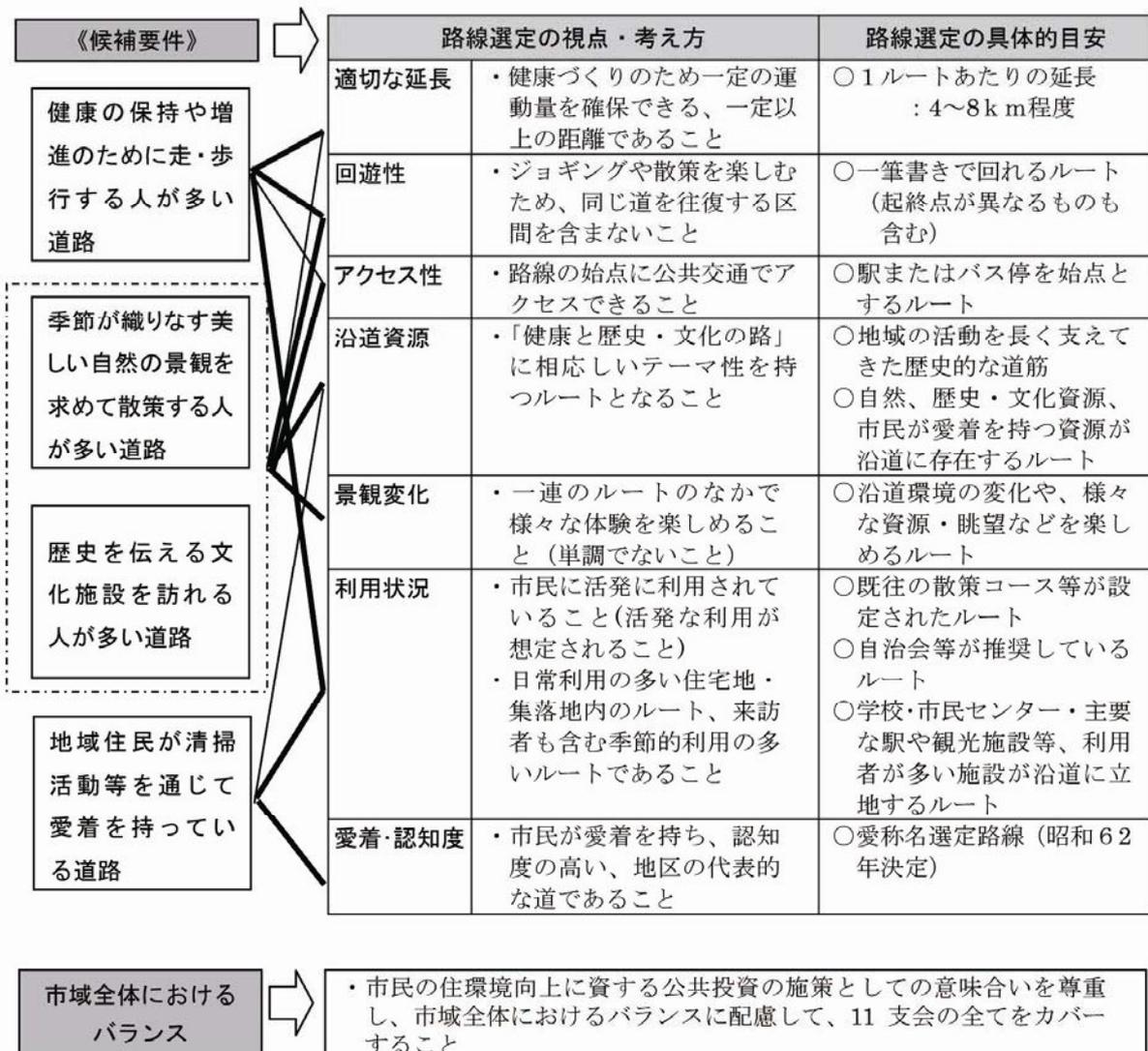
- 歩道のない幅員 3.0~6.0m程度の市道で車両と歩行者が相互通行する路線
- 市道部分の延長が 90%程度以上の供用路線

(2) 候補要件による路線選考

ア 路線選定の考え方

「候補要件」に基き、路線選定の考え方と具体的目安を設定しました。また、広く市民の利用を促し、快適な居住環境の向上を目的とするため、路線は市域全体にバランスに良く配置することとしました。

○路線選定の考え方と具体的目安



イ 路線の評価

路線選定の考え方などに基づいて、候補とした18路線の概況特性の評価を行うこととしました。

評価については、「候補要件」の「健康の保持や増進に係る要素」、「自然に係る要素」、「歴史文化に係る要素」に基き、日常的利用や来訪の目的となる沿道の施設、眺望や石垣など地域の特徴的な景観・環境、文化財、まちなかに点在する歴史的な建造物などを把握しました。「住民の愛着度の高さ」については、市民公募による愛称名選定路線（昭和62年決定）や市民の「好きな場所」など、地域に親しまれている市道に着目しました。また、道路の立地状況については、地形と周辺土地利用に着目しました。

具体的には、次の評価項目を定めて、概況特性の比較・評価を実施しました。

○概況特性の評価項目

評価項目		具体的内容		
立地状況		地形	山裾、段丘、扇状地、狭隘盆地、沢筋等	
		周辺土地利用	戸建住宅、マンション、畑地、樹林等	
健康の保持や増進に係る要素	利用状況	既往のコースの設定	おうめふらっとふらっとコース	コース設定の有無
			青梅市ウォーキングコース	コース設定の有無
		日常的要素	駅、市民センター、学校等	
		レクリエーション的要素	観光利用の多い施設等	
		公園	公園、レクリエーション広場、緑地等	
季節が織りなす美しい自然景観に係る要素	地域の景観・環境	眺望	山並み	山並みの眺望の有無
			河川	河川、河川への視点場となる橋梁
		農耕空間	田園、畑地、樹園地、生産緑地等	
歴史を伝える文化施設等に係る要素	歴史性・地域の履歴	石垣・生垣	沿道景観を特徴づける主な石垣、生垣	
		寺社庭園	寺院、神社、庭園	
		史跡・名勝	城址、陣屋跡、祠・石碑等	
住民の愛着度に係る要素		歴史的な建造物	旧家、町屋、洋館、蔵、茅葺等	
		愛称路線名	市民公募による愛称路線名	
利用上の快適性に係る要素		好きな場所（市民アンケート）	市民アンケートによる好きな場所・眺望	
		みどり	沿道景観を特徴づける主な樹林、樹木等	
		水辺	河川	

(3) 整備路線の選定

候補路線(18 路線)について、評価項目に基づく各路線の選択と路線の接続、市域におけるバランス等を総合的に勘案し、評価の高い路線を選定しました。

この結果、8 路線を「青梅市健康と歴史・文化の路」の整備路線として選定しました。この整備路線の位置、概況特性および道路種別を整理しました。

○「健康と歴史・文化の路」整備路線 一覧表

路線番号	区間	地区名	延長
ルート①	青梅駅～日向和田駅	青梅	約3.5km
ルート②	梅の公園～友田町1丁目	長淵、梅郷	約8.8km
ルート③	青梅駅～金子橋	東青梅、大門、今井	約8.0km
ルート④	梅の公園～柚木町3丁目	梅郷	約3.4km
ルート⑤	御嶽駅～石神前駅	沢井	約5.6km
ルート⑥	黒沢1丁目～成木小学校	小曾木、成木	約8.6km
ルート⑦	新町市民センター周辺	新町、大門	約5.3km
ルート⑧	青梅駅～南白はけ公園	河辺、東青梅	約3.7km

○「健康と歴史・文化の路」整備路線 位置図

